

ビハール州国道整備計画【インド】

施策所管局課 国別開発協力第二課

評価年月日 令和4年4月

1 案件概要	
(1) 供与国名	インド
(2) 案件名	ビハール州国道整備計画
(3) 目的・事業内容 (注) 閣議決定日、供与条件などを含む	インド東部ビハール州において、国道 83 号線（パटना～ドビー間）を 4 車線化し、また沿線主要都市付近においてバイパスを建設することにより、急増する道路交通需要への対応を図り、もって地域経済の発展に寄与するもの。 案件の内容 ・道路建設工事（本線道路約 127km、うちバイパス約 56km、サービス道路、鉄道高架、橋梁、料金所等） ・コンサルティングサービス ア 閣議決定日：平成 23 年 6 月 3 日 イ 供与限度額：229.03 億円 ウ 金利：1.4%（コンサルティングサービスについては 0.01%） エ 償還（据置）期間：30 年（10 年） オ 調達条件：一般アンタイド
2 事業の評価	
(1) 経緯・現状	ア 社会ニーズの現状 本事業計画当初、人口の増加や経済発展に伴い、ビハール州の車両台数は 2002 年から 2011 年にかけて 102 万台から 267 万台に増加する一方で、同州の人口十万人当たりの道路延長は 125km と、インド全体の平均 387km を下回る低い水準にあり、急増する道路交通需要への対応を図るため早急な道路網の整備が必要となっていた。2020 年においても、時点の同州の車両台数は 855 万台と増加する一方で、同州の人口十万人当たりの道路延長は 279km と、インド全体の平均 439km を下回る低い水準にあり、急増する道路交通需要への対応を図るため早急な道路網の整備が引き続き必要であることから、現在も本事業に関するニーズは大きい。 イ 事業遅延に関する経緯・現状 当初、本事業の土木工事は、2014 年に現地企業が受注したが、同社が経営破綻したため、2018 年に工事が中断した。翌年再入札を実施し、2020 年に契約が成立したため、現在本体工事が 2023 年完工に向けて順調に進められている。
(2) 今後の対応方針	本事業に関するニーズは引き続き大きく、事業の進捗を妨げていた要因が解決していることから、支援を継続する。
3 政策評価を行う過程において使用した資料等	・交換公文 ・外務省の約束状況に関する資料及び案件概要 ・国際協力機構の案件検索 ・国際協力機構の事業事前評価表 ・その他国際協力機構から提出された資料